

まちづくり振興策

重要文化的景観で観光振興  
どのようにPRしていくか？



吹田 薫 議員

答

関係団体と連携し、受け入れ体制を構築する

問

国が選定する重要文化的景観に、今回高島の大溝の水辺景観が選定された。海津と針江そして大溝と3箇所目であり、全国でも市内に3箇所というのは初めてである。高島にはそれほど風光明媚な所が沢山ある。市として、これら文化的な風景を取り入れた観光振興をどのようにPRしていくのか。

答

商工観光部長

大溝の文化的景観を活かしたまちづくりを考へる「まちづくり協議会」が設置される予定です。さらに、市の関係部局等で「文化的景観活用検討委員会」を組織し、3地区と連携しながら重要文化的景観の保全と今後の取り組み、また観光資源としての活用方策等について議論を進めていきます。

観光協会とも連携を密にし、地域住民の生活に配慮した中で、他の観光資源と併せて、それぞれの「点」を「線」で結び、一体的な「面」としての観光受入れ体制を構築することにより、一人でも多くの方に訪れていただけるよう、観光振興につなげてまいります。

問

少年高齢化や核家族化の進行等による地域の結束力の低下が進んでいる。社会状況が変容する中、地区運動会や町民運動会等を取りやる地区や町ができてきている。市民の意識調査では、運動やスポーツで体を動かすことが好きという人が約5割いるという中で、地区の運動会や球技会を中止するという地域では、連帯や結束が薄れてくると思う。市民の誰も

が参加できる市民運動会等は開催できないのか。

答 教育部長

市民が誰でも参加できるスポーツイベントは「びわ湖高島栗マラソン」や市民体育大会、また地域ごとに実施していただいている運動会や球技大会などがあります。

市民運動会等については、スポーツ推進審議会やスポーツ推進委員会等でご意見を伺いながら協議していきます。

その他の質問

●公共施設の設置と管理



大溝城跡



乙女ヶ池

と答へる。市民の誰も